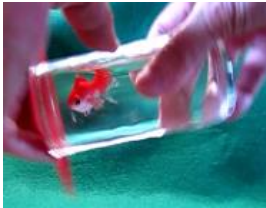


逆さコップの水～不落の水～

青森・野呂茂樹

【基本実験1】

水の入ったコップに載せたフタ(厚紙/プラ板など)を押さえて逆さにした後、押さえている指を離してもフタも水も落下しません。

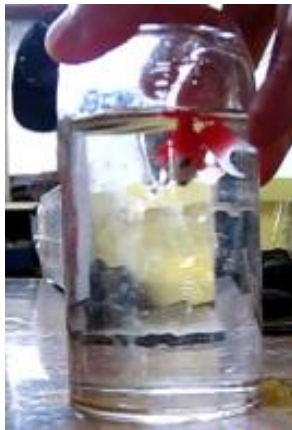


【基本実験2】

空の食卓塩/薬味容器に水を入れ、穴のあいた中栓をした後、逆さにしても水はこぼれません。

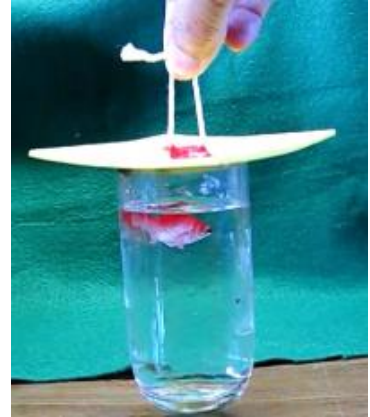
【実験1】

水の入ったコップを机の上に逆さに立てる方法を考えましょう。



【実験2】

水の入ったコップに糸をつけたフタ(EVA スポンジが好適)を載せ、コップを吊り上げましょう。



【実験3】

水の入ったコップにティッシュを被せ、逆さにしても、水は落下しません。



【実験4】

水の入ったコップに載せたフタを押さえて逆さにした後、押さえている指を離してもフタも水も落下しません。さらに、フタを外しても水はこぼれません。演者は任意のタイミングで水を流したりコップ内に留めることができます。



【実験4の小道具のつくりなど】

キャップにストローを差し込む穴のあいたプラコップで、コップの上部内側に段差があるもの（100円ショップ）を利用しました。



（その1：基本実験1+透明プラ円板）

透明プラ板を段差にちょうど乗っかる大きさの円板に切り取ります。



相手に見えないようにフタに重ねて水の入ったコップに載せた後逆さにし、フタを引き外しても円板は段差に残り、水はこぼれません（斜めにするとこぼれます）。

（その2：基本実験1+金網円板）

段差に金網円板をホットボンドなどで接着します。



（その2：基本実験1水切りネット）

コップの台所用水切りネット／フィルタを被せ、それに中央部分を切り抜いたキャップを押し被せ固定します。はみ出た部分はカットします。



（その2、3）とも、フタを水の入ったコップに載せた後逆さにし、フタを引き外しても水はこぼれません。コップを斜めにするとこぼれ、鉛直にすると流れが止まりますので、任意のタイミングで流れを調節することができます。

*コップの側面に小穴をあけ指で開閉すると、水の流れを調節することができます。

【参考文献】

・野呂茂樹「先生はマジシャン1」（連合出版）

*動画

<https://youtu.be/GXW6DcMKf0w>

